

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	学校教育課																						
事業名	教育委員会運営事業																								
教育の一般方針 重点施策	—																								
事業の意図	教育行政の政治的中立性や政策決定、行政運営などを確保することを目的に設置されている合議制の行政委員会が円滑に運営できるように事務処理を行います。																								
【主な実施内容】																									
<p>教育委員5名により本町の教育行政の政策決定及び行政運営を実施しました。</p> <p>(1) 定例会 12回（月1回）開催しました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 100px;">ア 議事</td><td style="text-align: right;">0件</td></tr> <tr><td>イ 議案</td><td style="text-align: right;">52件</td></tr> <tr><td>（ア）人事関係</td><td style="text-align: right;">20件</td></tr> <tr><td>（イ）予算関係</td><td style="text-align: right;">4件</td></tr> <tr><td>（ウ）条例、規則等</td><td style="text-align: right;">11件</td></tr> <tr><td>（エ）後援名義使用許可</td><td style="text-align: right;">6件</td></tr> <tr><td>（オ）表彰、褒賞等</td><td style="text-align: right;">5件</td></tr> <tr><td>（カ）認定</td><td style="text-align: right;">0件</td></tr> <tr><td>（キ）その他</td><td style="text-align: right;">6件</td></tr> </table> <p>(2) 臨時会 2回（4月、7月）開催しました。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 100px;">ア 議事</td><td style="text-align: right;">1件</td></tr> <tr><td>イ 議案</td><td style="text-align: right;">2件</td></tr> </table> <p>(3) 総合教育会議 2回（7月、2月）開催しました。</p>				ア 議事	0件	イ 議案	52件	（ア）人事関係	20件	（イ）予算関係	4件	（ウ）条例、規則等	11件	（エ）後援名義使用許可	6件	（オ）表彰、褒賞等	5件	（カ）認定	0件	（キ）その他	6件	ア 議事	1件	イ 議案	2件
ア 議事	0件																								
イ 議案	52件																								
（ア）人事関係	20件																								
（イ）予算関係	4件																								
（ウ）条例、規則等	11件																								
（エ）後援名義使用許可	6件																								
（オ）表彰、褒賞等	5件																								
（カ）認定	0件																								
（キ）その他	6件																								
ア 議事	1件																								
イ 議案	2件																								
【評価及び課題、問題点など】																									
<p>教育委員会は、地方分権の進展による責任の増大、政治的中立性の確保、継続性・安定性の確保、地域住民の意向の反映、文化・スポーツの振興といった多くの課題を抱えています。</p> <p>このため、現場の意見に基づいた議論を行う必要があり、各種会議・行事等に参加し、意見交換や現地状況を確認するなど、活発な活動を通じて引き続き教育行政の推進に努める必要があります。</p> <p>また、平成28年度から新教育委員会制度を導入しました。さらに、総合教育会議では、いじめ問題を議題として、会議を2回開催しました。</p> <p>なお、児童生徒の保護者を含む町民に対して、開かれた教育委員会とするため、教育委員会の活動内容について情報を提供することが、ますます重要となってきています。</p>																									

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

	担 当 課	学校教育課																																																																																								
事業名	教育振興一般管理事業																																																																																									
教育の一般方針 重点施策	(1)「生きる力を育む」手立ての確立 (2)生涯学習の基礎となる能力・態度の育成 (3)生活習慣の徹底と道德教育の充実 (7)児童生徒の安全指導及び健康保持																																																																																									
事業の意図	児童生徒の教育を受ける権利を保障するため就学関係事務を執行することにより、義務教育の円滑な運営を図ります。教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関の円滑な運営を支えています。																																																																																									
【主な実施内容】																																																																																										
(1) 全ての学齢児童生徒が義務教育を受けるための学齢簿の整理、就学指導を行いました。 (2) 教育委員会内の他部署、学校及びその他教育機関との連絡調整、予算・決算等庶務的事務を行いました。 (3) 小学校の状況（平成28年5月1日現在） <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 10%;">ア</td> <td style="width: 15%;">東郷小学校</td> <td style="width: 10%;">児童数</td> <td style="width: 10%;">496人、</td> <td style="width: 10%;">学級数</td> <td style="width: 10%;">19学級、</td> <td style="width: 10%;">教職員数</td> <td style="width: 10%;">33人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>春木台小学校</td> <td>児童数</td> <td>392人、</td> <td>学級数</td> <td>15学級、</td> <td>教職員数</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>諸輪小学校</td> <td>児童数</td> <td>434人、</td> <td>学級数</td> <td>16学級、</td> <td>教職員数</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td>音貝小学校</td> <td>児童数</td> <td>461人、</td> <td>学級数</td> <td>16学級、</td> <td>教職員数</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td>高嶺小学校</td> <td>児童数</td> <td>543人、</td> <td>学級数</td> <td>21学級、</td> <td>教職員数</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>カ</td> <td>兵庫小学校</td> <td>児童数</td> <td>633人、</td> <td>学級数</td> <td>21学級、</td> <td>教職員数</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">計</td> <td>児童数</td> <td>2,959人、</td> <td>学級数</td> <td>110学級、</td> <td>教職員数</td> <td>193人</td> </tr> </table> (4) 中学校の状況（平成28年5月1日現在） <table style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 10%;">ア</td> <td style="width: 15%;">東郷中学校</td> <td style="width: 10%;">生徒数</td> <td style="width: 10%;">460人、</td> <td style="width: 10%;">学級数</td> <td style="width: 10%;">15学級、</td> <td style="width: 10%;">教職員数</td> <td style="width: 10%;">36人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td>春木中学校</td> <td>生徒数</td> <td>746人、</td> <td>学級数</td> <td>25学級、</td> <td>教職員数</td> <td>53人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td>諸輪中学校</td> <td>生徒数</td> <td>233人、</td> <td>学級数</td> <td>9学級、</td> <td>教職員数</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">計</td> <td>生徒数</td> <td>1,439人、</td> <td>学級数</td> <td>49学級、</td> <td>教職員数</td> <td>115人</td> </tr> </table> (5) 各小中学校の校長による校長会を毎月1回開催し、連絡調整及び各種の取組みを協議・決定しました。			ア	東郷小学校	児童数	496人、	学級数	19学級、	教職員数	33人	イ	春木台小学校	児童数	392人、	学級数	15学級、	教職員数	27人	ウ	諸輪小学校	児童数	434人、	学級数	16学級、	教職員数	30人	エ	音貝小学校	児童数	461人、	学級数	16学級、	教職員数	31人	オ	高嶺小学校	児童数	543人、	学級数	21学級、	教職員数	35人	カ	兵庫小学校	児童数	633人、	学級数	21学級、	教職員数	37人		計	児童数	2,959人、	学級数	110学級、	教職員数	193人	ア	東郷中学校	生徒数	460人、	学級数	15学級、	教職員数	36人	イ	春木中学校	生徒数	746人、	学級数	25学級、	教職員数	53人	ウ	諸輪中学校	生徒数	233人、	学級数	9学級、	教職員数	26人		計	生徒数	1,439人、	学級数	49学級、	教職員数	115人
ア	東郷小学校	児童数	496人、	学級数	19学級、	教職員数	33人																																																																																			
イ	春木台小学校	児童数	392人、	学級数	15学級、	教職員数	27人																																																																																			
ウ	諸輪小学校	児童数	434人、	学級数	16学級、	教職員数	30人																																																																																			
エ	音貝小学校	児童数	461人、	学級数	16学級、	教職員数	31人																																																																																			
オ	高嶺小学校	児童数	543人、	学級数	21学級、	教職員数	35人																																																																																			
カ	兵庫小学校	児童数	633人、	学級数	21学級、	教職員数	37人																																																																																			
	計	児童数	2,959人、	学級数	110学級、	教職員数	193人																																																																																			
ア	東郷中学校	生徒数	460人、	学級数	15学級、	教職員数	36人																																																																																			
イ	春木中学校	生徒数	746人、	学級数	25学級、	教職員数	53人																																																																																			
ウ	諸輪中学校	生徒数	233人、	学級数	9学級、	教職員数	26人																																																																																			
	計	生徒数	1,439人、	学級数	49学級、	教職員数	115人																																																																																			
【評価及び課題、問題点など】																																																																																										
全学齢児童生徒が義務教育を受けることは当然の権利です。その円滑な運営を図るため、きめ細かな情報の収集と整理が必要です。																																																																																										

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	適応指導事業		
教育の一般方針 重点施策	(5)生徒指導の充実		
事業の意図	不登校児童生徒に集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等のための相談・学習指導・適応指導を行い、学校生活に復帰し自立できるように支援します。		
【主な実施内容】			
<p>(1) ハートフル東郷を開設しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 指導員及び指導補助員を配置し、不登校児童生徒の自立を促すと同時に学校生活への適応を図るため、次の指導を行いました。</p> <p style="margin-left: 40px;">(ア) 自分の言動に自信を持たせ、心の安定を図りました。</p> <p style="margin-left: 40px;">(イ) 基本的な生活習慣の確立に向けた助言を通して、自立する力を養いました。</p> <p style="margin-left: 40px;">(ウ) 対人関係の広がり支援し、集団への適応力を育成しました。</p> <p style="margin-left: 40px;">(エ) 個人に応じた学習活動を進め、学校生活への復帰を支援しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 運営時間 午前9時00分から午後3時まで（月曜日から金曜日）</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 通室者数 7人〔町内小中学校不登校児童生徒数65人（H28年度不登校児童生徒状況調査）〕</p> <p>(2) 不登校や不登校傾向の子どもを持つ保護者を対象に「ハートフル東郷親の会」を開催しました。</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>通室する児童生徒に対しては適切な指導を行っており、学校生活に復帰し、自立できるよう常にハートフル東郷に通室している児童生徒がいる反面、通室すらできない児童生徒がいること、学校へ復帰後にまた不登校となる児童生徒もいることから、今後も引き続き家庭、学校、地域などとの連携を密にしながら取り組んでいく必要があります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	生徒指導事業		
教育の一般方針 重点施策	(5)生徒指導の充実		
事業の意図	学校を中心に家庭や地域社会との連携を密にした指導を行うとともに、生徒が気軽に悩みを話せる環境をつくり、児童生徒自身が不安や悩みを軽減したり、解消したりできるようにします。		
【主な実施内容】			
<p>(1) 生徒指導推進協議会 3中学校の生徒指導推進協議会へ負担金を交付し、各中学校区内における地域との情報交換会・街頭指導・非行防止の啓発活動を行いました。</p> <p>(2) スクールカウンセラー</p> <p>ア 小学校 6小学校に計2名のスクールカウンセラーが愛知県から配置されて、児童等からの相談を受けました。 児童等相談件数 183件 年間相談時間 416時間</p> <p>イ 中学校 3中学校に1名ずつ計3名のスクールカウンセラーが愛知県から配置されて、生徒等からの相談を受けました。 生徒等相談件数 597件 年間相談時間 624時間</p> <p>(3) 心の教室相談員</p> <p>ア 中学校 3中学校に計4名（東郷中学校1名、春木中学校1名、諸輪中学校2名）の心の教室相談員を配置し、生徒等が気軽に相談できる環境を整備しました。 生徒等相談件数 612件 東郷中学校 364時間、春木中学校 372時間、諸輪中学校 433時間</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>スクールカウンセラー及び心の教室相談員への相談は必要があります。 児童生徒の問題行動の発生を事前に把握することは困難ですが、児童生徒がいつでも気軽に相談できるように工夫する必要があります。このため専門家ではない、お兄さん、お姉さんの立場の心の教室相談員を配置しており、毎年多くの相談があり、効果を出しているため、今後もこの形態を維持していきます。 また、児童生徒の問題行動は家庭などに問題がある場合が多く、学校が対応できることに限界があることから平成28年度からスクールソーシャルワーカーを1名配置しました。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	高等学校等教育振興事業		
教育の一般方針 重点施策	-		
事業の意図	保護者負担を軽減し、公立高等学校及び専修学校間における授業料の格差を是正します。		
【主な実施内容】			
<p>生徒が、平成28年10月1日現在私立高等学校等に在籍しており、10月1日現在、町内に在住している保護者に対して、生徒1人当たり年額10,000円（実際の授業料支払額が10,000円未満の場合は、その額まで）を補助しました。</p> <p>(1) 補助実施生徒数 365人</p> <p>(2) 在籍学校数 66校</p> <p><参考> 平成19年度までは、保護者が10月1日現在町内に在住し、かつ生徒が10月1日現在私立高等学校等に在籍している場合、所得制限なく生徒1人当たり年額12,000円を交付していました。 平成20年度及び21年度は、課税総所得金額410万円以下の所得制限を設け、生徒1人あたり年額15,000円を交付しました。 平成22年度及び平成23年度は、公立高等学校授業料無償化とともに、国の高等学校等就学支援金制度が創設されたことにより、愛知県の私立高等学校等授業料補助制度も改正され、保護者への補助が手厚くなったため、事業を中止しました。 平成24年度から補助事業を再開し、継続実施中です。</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>対象者数に対する申請率は、平成24年度は70%ほどでしたが、平成25年度以降は申請者の負担軽減のため、郵送による受付を始め、申請率は80%近くなりました。さらに申請しやすくするために申請書をHPからダウンロードできるように改めました。 授業料の格差を是正するために、今後も継続する必要があります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	学校教育課
事 業 名	学童教育推進事業		
教育の一般方針 重 点 施 策	-		
事業の意図	学童期からの運動促進、運動好きな子どもを育み基礎体力の向上を図る。		
【主な実施内容】			
<p>学童教育推進事業</p> <p>産官学で連携し、研修会や講習会を実施しました。 (産：施設サービス株式会社、官：東郷町教育委員会、学：順天堂大学)</p> <p>(1) 順天堂大学の加納名誉教授を招き、教職員向け研修会を開催しました。 日時：平成28年8月4日(木) 午前9時30分から午前11時30分まで 場所：東郷町総合体育館 アリーナ 参加者：60人</p> <p>(2) ロープパーformerのSADAさん等を招き、高嶺小学校の児童向けに講習会を開催しました。 日時：平成28年10月3日(月) 午前9時35分から午前11時30分まで 場所：東郷町立高嶺小学校体育館 参加者：536人</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>学童期における子ども達へのパフォーマンスを見せる講習会だけでなく、教職員向けの研修会も開催することによって、教える側と教わる側の双方にとって基礎体力の向上に対する意欲を向上させる事業であると考えます。今後も継続して実施していきたいと思ひます。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	学校教育課
事 業 名	小中学校保健事業		
教育の一般方針 重 点 施 策	(1)「生きる力を育む」手立ての確立		
事業の意図	疾病の早期発見と健康指導の徹底を図り、健康で健やかな学校生活を送れるようにします。		
【主な実施内容】			
<p>(1) 小中学校保健一般事業</p> <p>ア 児童生徒健診（小学校2, 959人、中学校1, 439人） 尿（2回）、心電図（小学1・4年生、中学1年生）、血液検査（中学2年生）、胸部X線（結核精密検査該当者）、内科健診</p> <p>イ 教職員健診（小学校184人、中学校106人） 胃・眼底（35歳以上）、尿、胸部X線（結核）、血液、心電図、大腸がん、B型肝炎、内科健診、ストレスチェック（春木中学校）</p> <p>ウ 産業医の委託（春木中学校1名）</p> <p>(2) 小中学校学校医等設置事業</p> <p>ア 学校医 内科検診（児童生徒、教職員）と就学時健診（小学校入学前） 眼科分（小学2・3・5・6年生、中学2・3年生）</p> <p>イ 歯科医 歯科検診（児童生徒）と就学時健診（小学校入学前）</p> <p>ウ 耳鼻科医 耳鼻科検診（小学1・4年生、中学1年生）</p> <p>エ 眼科医 眼科検診（小学1・4年生、中学1年生）</p> <p>オ 薬剤師 水質検査、学校環境測定（ダニ・ホルムアルデヒド・教室の照度・CO₂濃度など）</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>健康診断により疾病・異常を早期発見し、予防処置を施し、治療に役立てています。今後も学校保健安全法等に基づき、児童の健康指導の面で継続していく必要があります。</p> <p>中学2年生で実施する血液検査（貧血）の項目に、平成26年度から肝機能検査、血中脂質検査を加え、生活習慣病の早期発見・予防に努めています。</p> <p>また、小学校1年生、4年生、中学校2年生の希望者に対し、色覚検査を行いました。</p> <p>労働安全衛生法に基づき、春木中学校においてストレスチェックを実施しました。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	学校教育課
事 業 名	小中学校維持管理事業		
教育の一般方針 重 点 施 策	(8)学校施設等の整備		
事業の意図	施設の機能を適正に維持することで、安全で快適に利用できるようにします。		
【主な実施内容】			
<p>(1) 小中学校一般維持管理費 学校の健全かつ正常な運営が損なわれないように機能維持を図りました。 ア 小中学校施設の維持管理、機械設備の保守点検（小学校18件、中学校16件）を実施しました。</p> <p>①学校施設警備業務、②自家用電気工作物保守点検業務、③昇降機保守点検業務 ④消防用設備等保守点検業務、⑤浄化槽保守点検業務、⑥ごみ収集運搬業務、 ⑦濾過装置保守点検業務、⑧学校植栽維持管理業務、⑨学校施設清掃業務 ⑩兵庫小学校維持管理業務、⑪遊具体育用具保守点検、⑫ガス空調機保守点検業務 など</p> <p>イ 学校環境の点検を行いました。 ①飲用水水質検査、②プール水水質検査、③学校環境衛生検査（ダニ及びハウスダスト）など</p> <p>ウ 小中学校に臨時職員を配置しました。 ①学校用務員9人（小学校6人、中学校3人）、②学校給食配膳員9人（小学校6人、中学校3人） ③学級運営改善対応員12人（小学校10人、中学校2人）、 ④学校生活介助員17人（小学校13人、中学校4人）、 ⑤非常勤講師13人（小学校6人、中学校7人）、 ⑥学校図書館司書教諭補助員9人（小学校6人、中学校3人）</p> <p>(2) 小中学校施設改修費 学校の老朽化や管理運営上必要となる施設設備の補修、修繕、改修工事等を実施しました。</p> <p>ア トイレ改修工事（東郷小学校西・南校舎） イ トイレ改修工事監理業務（東郷小学校西・南校舎） ウ 校舎大規模改造工事設計業務（音貝小学校南校舎） エ 校門改修工事設計業務（音貝小学校） オ トイレ改修工事設計業務（春木台小学校北校舎、諸輪小学校北校舎） カ 昇降機改修工事設計業務（諸輪小学校） キ 音楽室空調設備整備工事設計業務（春木中学校） ク 音楽室空調設備整備工事監理業務（春木中学校） ケ 音楽室空調設備整備工事（春木中学校） コ プールろ過装置修繕工事ほか</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>今後、老朽化の進む施設の更新、改修に係る工事費等の急増が見込まれるため、計画的に修繕を行う必要があります。</p> <p>トイレの洋式化、特別教室のエアコン設置を計画的に進める予定です。</p> <p>学校からの要望に応え、学級運営改善対応員を小学校2名、学校生活介助員を中学校1名増員しました。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	学校教育課
事業名	小中学校運営事業		
教育の一般方針 重点施策	(1)「生きる力を育む」手立ての確立 (3)生活習慣の徹底と道徳教育の充実 (4)学校、家庭、地域社会との連携 (6)情報化、国際化に対応した教育の推進 (8)学校施設等の整備		
事業の意図	小中学校の運営に必要な公費で負担すべき経費を支出し、教育の機会均等と教育水準の維持向上を図ります。		
【主な実施内容】			
(1) 教科用消耗品の購入、教材備品の購入・修理、部活動に対する補助を行いました。 (2) 学校評議員を38名委嘱し、学校評議員会を年間延べ21回開催し、延べ82人が出席しました。 東郷小学校 5名 3回 東郷中学校 5名 2回 春木台小学校 4名 2回 春木中学校 4名 2回 諸輪小学校 4名 3回 諸輪中学校 4名 2回 音貝小学校 5名 3回 高嶺小学校 3名 2回 兵庫小学校 4名 2回 (3) 外国人英語指導業務 1人の外国人の指導助手を週代わりで全小中学校に配置しました。 (4) 学校支援ボランティア制度の利便性を高めるため、傷害保険に加入できるようにしました。 (5) 特色ある事業の一環として、人権教育や平和教育、福祉教育など学校の独自性に合わせた道徳教育を行いました。			
【評価及び課題、問題点など】			
総合的な学習の時間などで地域社会との交流、国際理解などの学校単位での特色ある学習が増えてきています。また、地域に開かれた学校づくりを一層推進し、保護者や地域住民等の協力を得て、学校運営に関する意見を広く求めながら、学校としての説明責任を果たしていくために学校評議員制度を今後も活用していく必要があります。			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

	担 当 課	学校教育課								
事 業 名	小中学校図書館整備事業									
教育の一般方針 重点 施 策	(2)生涯学習の基礎となる能力・態度の育成 (8)学校施設等の整備									
事業の意図	学校図書館の蔵書数を文部科学省の定める図書標準冊数まで引き上げ、学校図書館の充実を図り、児童の本に触れる機会を増やすことにより、読書を通じた情報収集能力や読書を通して感じたことを人に伝える楽しさなど、読書の持つ本来の楽しさが理解できるようにします。									
【主な実施内容】										
(1) 蔵書状況										
	購入	廃棄	蔵書数	標準冊数	充足率					
東郷小学校	108 冊	40 冊	10,678 冊	10,560 冊	101%					
春木台小学校	154 冊	138 冊	10,690 冊	9,160 冊	117%					
諸輪小学校	198 冊	0 冊	9,210 冊	9,560 冊	96%					
音貝小学校	582 冊	350 冊	9,959 冊	10,360 冊	96%					
高嶺小学校	188 冊	769 冊	11,204 冊	10,960 冊	102%					
兵庫小学校	239 冊	0 冊	11,719 冊	10,960 冊	107%					
計	1,469 冊	1,297 冊	63,460 冊	61,560 冊						
東郷中学校	193 冊	0 冊	14,426 冊	12,160 冊	119%					
春木中学校	1,142 冊	0 冊	15,383 冊	15,840 冊	97%					
諸輪中学校	515 冊	253 冊	9,139 冊	9,040 冊	101%					
計	1,850 冊	253 冊	38,948 冊	37,040 冊						
(2) 年間貸出冊数										
東小	春小	諸小	音小	高小	兵小	計	東中	春中	諸中	計
6,200	3,063	12,395	5,496	9,222	17,630	54,006	1,068	1,878	520	3,466
【評価及び課題、問題点など】										
<p>計画的な図書の整備や充足率の低い学校へ重点的に予算を配当したことにより、蔵書状況が改善されました。</p> <p>総合学習など、さまざまな分野の学習が求められており、学校図書館の充実、より広範囲な図書の選定などが求められています。また、コンピュータの普及により、本に触れる機会が減ってきているため、小学校において読書の時間を設けるなど多様な読書活動に取り組むようになってきています。本に親しむことは、心豊かな児童生徒を育てる上で欠かせない要素であり、標準冊数を早期に整備できるよう、今後も計画的に進め、学校間の格差を少なくする必要があります。</p> <p>特に、中学校では貸出冊数が少ないため、心身ともに成長期を迎えている生徒に対し、より多くの本に親しんでもらえるよう、読書活動を今後さらに推進する必要があります。</p>										

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	学校教育課		
事業名	小中学校特別支援教育奨励事業				
教育の一般方針 重点施策	(1)「生きる力を育む」手立ての確立 (2)生涯学習の基礎となる能力・態度の育成 (3)生活習慣の徹底と道徳教育の充実				
事業の意図	障がいのある児童の保護者の経済的負担の軽減を図ります。				
【主な実施内容】					
小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、学校に係る経費の一部を支給しました。					
(1) 支給人数 小学校39人、中学校24人					
(2) 支給費目 学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費					
(3) 費目別支給金額					
区分	学用品費	学校給食費	新入学用品費	校外活動費	修学旅行費
小学校	167,228円	774,640円	40,940円	28,234円	65,391円
中学校	178,560円	517,010円	117,750円	17,144円	189,742円
【評価及び課題、問題点など】					
教育基本法、学校教育法、特別支援学校への就学奨励に関する法律に基づき事業を実施しています。この制度について、正確に保護者に周知する必要があります。					

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

担 当 課	学校教育課
-------	-------

事業名	小中学校就学援助事業
-----	------------

教育の一般方針 重点施策	(1)「生きる力を育む」手立ての確立 (2)生涯学習の基礎となる能力・態度の育成 (3)生活習慣の徹底と道德教育の充実
-----------------	---

事業の意図	経済的な事情により就学困難な児童の保護者を援助することにより、すべての児童が安心して義務教育を受けることができるようにします。
-------	---

【主な実施内容】

小中学校の保護者からの申請に基づき、就学困難な世帯と認定された保護者に対し、就学に必要な費用を援助しました。

(1) 支給人員

小学校137人、中学校72人

(2) 支給費目

学用品費、通学用品費、学校給食費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、PTA会費、生徒会費(中学校)

(3) 費目別支給金額

区分	小学校	中学校
①学用品費	1,443,980円	1,558,680円
②通学用品費	282,620円	155,810円
③学校給食費	5,287,700円	3,035,240円
④新入学用品費	286,580円	447,450円
⑤校外活動費	436,973円	582,063円
⑥修学旅行費	378,466円	1,511,337円
⑦PTA会費	200,240円	119,750円
⑧生徒会費	—	33,958円

【評価及び課題、問題点など】

学校教育法、就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律に基づき事業を実施しています。経済的な理由によって就学困難な児童の保護者に対し、必要な援助をすることにより、義務教育就学の円滑化を図ることができるため、今後も継続していく必要があります。

また、今後は本事業の主旨について、全保護者に対し周知していく必要があります。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

	担 当 課	学校教育課
事業名	小中学校情報教育推進事業	
教育の一般方針 重点施策	(6)情報化、国際化に対応した教育の推進 (8)学校施設等の整備	
事業の意図	全小中学校のコンピュータ教室の児童生徒用コンピュータが効果的に利用できる状態とし、校内LANにより各教室で児童生徒がコンピュータを利用し、学ぶことができる環境を整備して情報教育を推進します。	
【主な実施内容】		
<p>(1) パソコン教室の整備 全小中学校のコンピュータ教室に設置してあるコンピュータ360台(小学校6校×40台、中学校3校×40台)により、情報教育を推進できる環境を維持しました。 パソコン教室機器の整備状況(1校当たりの台数) ア 児童生徒用パソコン40台、教師用パソコン1台 イ カラープリンタ 2台 ウ プロジェクタ 1台(小学校)、2台(中学校) エ デジタルカメラ 10台 オ スキャナ 1台(小学校)、2台(中学校) カ 電子黒板 1台</p> <p>(2) 安全に情報へアクセスできる環境 児童生徒がインターネットなどで安全に情報を取得できる環境を整備しました。 ア インターネットプロバイダへの接続 イ ルータによる外部からの侵入の防御 ウ インターネットフィルタリングシステムの利用によるアクセス制限 エ ウイルス対策ソフトウェアの導入</p> <p>(3) 情報コンテンツの利用による授業展開 コンピュータグラフィックなどにより分かりやすく表現した情報コンテンツ等を利用して授業を行い、理解度を深めました。 利用コンテンツ数 80個(小学校65個、中学校15個)</p>		
【評価及び課題、問題点など】		
<p>文部科学省の整備基準に見合うように、一層の情報教育機器を整備する必要があり、情報教育機器の整備を推進するため、学校と協議し、内容を検討する必要があります。</p> <p>校内LANは、中学校は整備済みですが、小学校は未整備のため、校内LAN及び校内LANを利用できる教育用コンピュータを整備する必要があります。普通教室からインターネットに接続ができるようになれば、授業などでインターネットが活用でき、様々な情報を調べることができるようになります。</p>		

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	社会教育振興事業・各種教室開催事業		
関連する重点施策	1 生涯学習活動の充実を図る。		
事業の意図	1 社会教育振興事業 生涯学習関連事業の情報を各家庭で容易に入手できるようにします。 2 各種教室開催事業 興味のある教室・講座を受講し、自身の生涯学習を推進することによって人生を豊かにします。		
【主な実施内容】			
1 社会教育振興事業 (1) 生涯学習情報誌「ジョイフル」の刊行（年2回） 印刷部数：平成28年秋号・平成29年春号 35,000部（各17,500部） (2) 「東郷の教育」の刊行（年1回） 印刷部数：200部 (3) 生涯学習講座の講師登録者数 前年から6人増加し、214人になりました。 (4) ボランティア活動等主催者賠償責任保険に加入しました。 加入団体：社会教育関係 5団体 2 各種教室開催事業 各種教室講座数 13講座 年間受講者述べ人数 860人			
【総合評価】			
1 社会教育振興事業 「ジョイフル」は情報提供誌として手軽に読むことができ、「東郷の教育」は教育委員会事業のまとまった記録として永年の価値を有します。今後も継続して作成していくことによって、生涯学習事業の行政需要に対応していくことが必要です。 2 各種教室開催事業 語学、音楽、子ども向け講座等と幅広い分野の生涯学習教室に加え高齢者向けにスマートフォン講座を実施し好評をいただいています。教室講座が住民の生涯学習のきっかけとなるよう、さらに幅広いジャンルの教室を開催する必要があります。			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

	担 当 課	生涯学習課
事業名	放課後子ども教室推進事業	
関連する重点施策	2 放課後子どもプランを推進する。	
事業の意図	身近な学校施設を利用し、地域で健やかな子どもを育む環境を充実させるとともに、学習の支援を始め、学年の異なる子ども同士の交流、地域の大人との交流、様々な体験活動などを通じて、子どもたちの自主性・社会性・創造性を養います。	
【主な実施内容】		
<p>放課後子ども教室事業</p> <p>(1) 内容</p> <p>ア 学びの場：自主学習の支援、読書など</p> <p>イ 遊びの場：将棋・囲碁、トランプ、体育館スポーツ、屋外での遊びなど</p> <p>ウ 体験の場：お茶の手ほどき、工作、昔遊びなど</p> <p>エ ふれあいの場：グランドゴルフ、自然観察など</p> <p>(2) 開所日等</p> <p>平成28年4月1日から平成29年3月31日まで</p> <p>月曜日から金曜日まで、年末年始（12/28～1/9）、お盆の期間（8/11～17）、国民の祝日に関する法律に規定する休日、式日、その他学校行事による施設利用不可日等は除く。</p> <p>授業のある日：各学年授業終了後から午後5時30分まで</p> <p>授業のない日：午前9時から午後5時まで （ただし、学校行事等で活動しない場合あり。）</p> <p>(3) 場所</p> <p>兵庫小学校、高嶺小学校、東郷中学校、音貝小学校、諸輪小学校、春木台小学校</p> <p>(4) 開所日数</p> <p>220日（兵庫）、221日（高嶺）、215日（東郷）、223日（音貝）、222日（諸輪）、221日（春木台）</p> <p>(5) 登録数及び1日平均参加児童数</p> <p>191人登録 約24人/日（兵庫）</p> <p>139人登録 約22人/日（高嶺）</p> <p>141人登録 約19人/日（東郷）</p> <p>206人登録 約43人/日（音貝）</p> <p>170人登録 約34人/日（諸輪）</p> <p>153人登録 約26人/日（春木台）</p> <p>(6) 参加費</p> <p>無料（別途傷害保険料年額800円、材料費等実費相当分については参加者の負担）</p>		
【総合評価】		
<p>各教室で充実した活動ができました。活動内容及び指導員体制については定着してきました。また、子ども課の放課後児童クラブと連携して事業を展開することができました。</p>		

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	青少年健全育成事業・家庭教育等推進事業		
関連する重点施策	3 青少年の健全育成と家庭教育の充実を図る。		
事業の意図	1 青少年健全育成事業 東郷町の将来を担う青少年が健全に育ち社会に貢献できるよう、各地区の青少年健全育成地区会が中心となって活動するための情報交換の場づくりを進めます。 2 家庭教育等推進事業 家庭教育や子育てに関する情報交換の場を提供し、親同士の連帯を深め、子育ての不安を解消します。		
【主な実施内容】			
1 青少年健全育成事業 (1) 青少年健全育成推進事業 各地区における青少年健全育成事業に対する補助金交付、情報交換、優良青少年・指導者及び団体の表彰、啓発資材の作成及び配布をしました。 ア 優良青少年・指導者及び団体の表彰 青少年の部 20人、青少年指導者の部 2人、青少年団体の部 なし イ 啓発資材作成及び掲示 のぼり (190枚) (2) 少年補導委員事業 放課後等における少年少女の非行防止活動を行っている少年補導委員6名に謝金を交付しました。			
2 家庭教育等推進事業 家庭教育推進連絡協議会を開催するとともに、各小学校の家庭教育推進委員会において教育講演会や親子ふれあい講座等を企画・実施し、その講師料を支出しました。			
【総合評価】			
1 青少年健全育成事業 青少年健全育成は、学校と家庭と地域の連携強化を図ることが必要ですが、地域のつながりの希薄化や家庭力の低下等によって、青少年を取り巻く環境はますます厳しくなりつつあります。 そのため、今後も他部署・多機関と連携し、青少年健全育成への関心を高めていく必要があります。			
2 家庭教育等推進事業 親同士又は親子で参加できる事業を学校において実施、学校・親がコミュニケーションを保ち、社会全体でサポートできる体制が重要です。子育ての不安や子育ての孤立を解消すべく、情報交換と親睦を深める講座等を継続していきます。			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	公民館文化ふれあい事業・音楽祭開催事業 町民会館文化ふれあい事業・文化団体育成事業		
関連する重点施策	4 文化・芸術の振興を図る。		
事業の意図	1 公民館文化ふれあい事業 身近な公民館で優れた音楽芸術、舞台芸術、文化講演などに頻繁にふれあう機会を提供するとともに、地域の芸術文化の質を向上していきます。 2 音楽祭開催事業 町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生に日頃の練習の成果を発表する機会をつくるとともに、町民が演奏を楽しみ、心のゆとりを作ります。プロ主体・鑑賞型の「コンサートへの誘い」と合わせて豊かな芸術文化環境をつくりまします。 3 町民会館文化ふれあい事業 町民会館という身近なホールで日常的に公演を実施し、上質な舞台芸術と頻繁にふれあう機会づくりを進めて、地域の芸術文化のレベルアップを図ります。 4 文化団体育成事業 団塊世代の余暇時間の増加、自己実現意識の向上に対応し、生涯学習の一環である文化活動に多くの町民が参加できるよう、文化団体の活動を支援し、その活動を活性化します。		
【主な実施内容】			
1 公民館文化ふれあい事業 (1) コンサートへの誘い (2) レクチャー・ミニコンサート事業 (3) 町民大学講座（ミニ文化講演）事業 2 音楽祭開催事業 町内を中心に活動するプロやアマチュア音楽家、音大生、生徒が日頃の練習の成果を発表するために音楽祭を開催しました。 (1) ソロ・アンサンブルの部 (2) 吹奏楽の部 (3) 合唱の部 (4) こどもミュージカル 3 町民会館文化ふれあい事業 身近な町民会館で生の舞台芸術に触れる事業を実施しました。 (1) 音楽のおくりもの わいわいコンサート・アフターヌーンコンサート (2) 夏休み親子向けトークショー「将棋の楽しみ方」 (3) 鎌田實講演会 「がんばらない」けど「あきらめない」～命を支えるということ～ (4) チェコ少年合唱団 クリスマス・コンサート2016 (5) 島田洋七講演会 「笑顔でいきんしゃい！」			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

4 文化団体育成事業

(1) 文化協会育成推進事業

文化協会の運営活動に対し補助金を交付しました。

ア 加盟団体数 28団体 イ 各部の自主事業開催 513回

(2) 東郷音頭保存会育成事業

東郷音頭、東郷小唄を永年に保存するとともに広く町民に普及をさせるために活動を行っている東郷音頭保存会へ補助金を交付しました。

会員数 個人会員 91人・団体会員 8組

【総合評価】

1 公民館文化ふれあい事業

ミニ文化講演は5回中2回を社会教育委員会が企画し、町民の視点に立った講演を開催することができました。

既存のPR方法だけでなく、音楽サークルや団体に直接チラシを配るなど工夫し、入場者の増加に努めました。

2 音楽祭開催事業

音楽芸術は、鑑賞が中心になりがちですが、それだけではなく、音楽祭のように町民が発表できる機会を充実させることで、人材を育成し町全体の音楽芸術に関する教養を深められるよう努めました。また、今年度は3年に1度の東郷少年少女合唱団の日ごろの練習の成果の発表の場としてこどもミュージカルを実施しました。

3 町民会館文化ふれあい事業

親子向け事業では、ファミリーコンサートを乳幼児向けと小中学生向けの2公演実施し、幅広い客層にお楽しみいただけました。

また、日本将棋連盟によるプロ棋士のトークショー及び指導対局を実施し、お年寄りから小学生まで将棋にふれあう機会を設けました。

4 文化団体育成事業

文化協会が春の文化祭、文化産業まつりの展示ブースで「東郷コーナー」を開設し、本町の魅力をPRしました。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	歴史民俗資料事業		
関連する重点施策	5 郷土資料館の充実を図る。		
事業の意図	町の貴重な考古・歴史・民俗資料を収集、調査・整理、活用のために公開し、多くの町民に東郷町の歴史・文化財に触れる機会を提供していきます。		
【主な実施内容】			
<p>歴史民俗一般管理事業</p> <p>(1) 郷土資料館・昔体験館の活用 郷土資料館・昔体験館を常時開催し、絵や写真を活用して郷土の歴史・文化をわかりやすく展示しました。また、昔体験館には、大型モニターで昔のことを思い出させる映像を流し、回想法による認知症予防の1つとして活用しました。</p> <p>(2) 郷土資料館・昔体験館ガイドツアーの開催 6回開催 延べ220名が参加 ア 郷土資料館 常設展示の説明 イ 昔体験館 アニメ映像で昔の暮らしの説明</p> <p>(3) 新収蔵品の受け入れ 民俗資料 いたこ、たたき、アルミ杓子、折れ尺、そろばん、うげ、ざる、たびの型、ごま煎り、たらい、半切桶、煎り鍋、寿司桶、ねり鉢、火鉢、みそ入れ、硬貨、葛籠、手あぶり火鉢、てんぴつ、南京袋、醤油樽、養蚕用、暖房具、火消し壺、つけもの桶、草鞋、藁草履、重箱</p> <p>(4) 常設展示 ア 模造民家一室 イ 大正、昭和期の生活用具 ウ 農具 エ 漁具 オ 養蚕具 カ 祐福寺本堂棟瓦 キ 軒瓦、鬼瓦各種</p> <p>(5) 郷土資料のデータ化 収蔵庫内資料の法量計測・写真撮影など資料の整理を行うとともに、新規収蔵資料の受入れ、登録を実施しました。</p>			
【総合評価】			
<p>郷土資料館・昔体験館ガイドツアーは、小学校の社会科の授業での参加があり参加者が増加しました。今後も積極的にPRして行く必要があります ましたが参加小学校が特定されているため、他の小学校にも参加を呼びかけます。 資料の収集整理を進めていろいろな企画展示ができるよう、職員の確保と人材育成、ボランティアの育成・活用を併せて推進していく必要があります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	文化財保護事業		
関連する重点施策	6 文化財保護と継承に努める。		
事業の意図	町内の文化財を広く町民に周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるように保存していきます。		
【主な実施内容】			
<p>文化財保護事業</p> <p>(1) 文化財保護委員会関係事業 町内にある文化財の大切さを町民に広く周知するとともに、貴重な文化財を後世に伝承できるよう文化財保護委員会を年2回開催しました。</p> <p>(2) 文化財講座等事業</p> <p>ア 文化財めぐり 町民に文化財を理解してもらうために文化財めぐりを開催しました。 場所 黒笹7号窯、祐福寺一里塚、旭丘東郷分校跡碑、諸輪公民館 参加者 13人</p> <p>イ 歴史講座 「徳川家康没後400周年徳川家康を探る」と題して3回連続講座を開催しました。 講師：原史彦氏（徳川美術館 学芸員） 参加者 25人</p> <p>(3) 文化財保存事業 祐福寺一里塚の草刈りを年3回実施しました。</p> <p>(4) 町指定無形民俗文化財保存育成事業</p> <p>ア 町指定無形民俗文化財の保存育成、備品の修繕等に対する補助を3団体に対し行いました。</p> <p>イ 伝統文化こども教室の発表会を開催しました。</p>			
【総合評価】			
<p>文化財めぐりの見学場所を近隣市の文化財まで拡大し、見聞を広めることができ好評をいただきました。</p> <p>伝統文化こども教室の発表会の参加団体が1団体増加し、昨年度より充実した発表会を開催できました。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	図書館管理運営事業		
関連する重点施策	7 図書館活動の推進		
事業の意図	生活に密着した情報収集及び学習の場として利用したいときに気軽に立ち寄り、子どもから高齢者まで町民のみならず多くの方々が図書資料に親しむことができるような図書館とします。		
【主な実施内容】			
<p>図書館管理運営事業</p> <p>(1) 図書館管理運営事業</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 図書館協議会を開催し指定管理者制度の導入にむけた図書館運営に関する意見を拝聴しました。</p> <p style="margin-left: 40px;">(ア) 図書館協議会委員数 8名 (イ) 図書館協議会開催回数 年1回</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 図書館の利用状況</p> <p style="margin-left: 40px;">(ア) 図書館会館日数 280日 (イ) 入館者数 94,416人 (ウ) 貸出冊数 156,571冊</p> <p style="margin-left: 40px;">(エ) 特別返却窓口 5,083冊 (オ) 来館困難者への宅配サービス 606冊</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 図書館行事</p> <p style="margin-left: 40px;">(ア) お話会(毎週土曜日開催)参加者257人</p> <p style="margin-left: 40px;">(イ) お楽しみ会(毎週第2土曜日開催)参加者117人</p> <p style="margin-left: 40px;">(ウ) 不用図書リサイクル(不用図書の保育園、児童館、図書リサイクル会等での無料配布)出品3,612冊</p> <p style="margin-left: 40px;">(エ) ブックスタート(2歳児を対象とした絵本の読み聞かせ等、7か月から10か月児を対象とした絵本紹介)参加者 115人</p> <p style="margin-left: 40px;">(オ) 夏のお楽しみ会を8月6日、28日で開催し、子どもから大人までを対象にし、読み聞かせや手づくり大型紙芝居、人形劇及び映写会などを行いました。参加者延279人</p> <p style="margin-left: 40px;">冬には児童の豊かな情緒を育むための会としてお楽しみ会を開催しました。参加人数237人</p> <p>(2) 図書備品等整備事業</p> <p style="margin-left: 20px;">町民の学習や読書ニーズ、また調査・研究の場所として、利用者のリクエストや世相に配慮した利用度の高い本を購入し、本の整備を図るとともに、本の修理を行いました。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 蔵書冊数132,438冊 イ 年間受入冊数 (ア) 購入冊数 4,045冊 (イ) 寄贈等その他 261冊</p> <p>(3) 指定管理者制度</p> <p style="margin-left: 20px;">平成25年度から5年間の指定管理基本協定を締結しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">指定管理者 東郷町施設サービス株式会社</p> <p style="margin-left: 20px;">指定期間 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで</p>			
【総合評価】			
<p>役場、いこまい館、体育館、町民会館の受付窓口でも本を返却できる仕組みが定着し、利用者の利便が向上しました。(平成25年度から)</p> <p>来館困難者への宅配サービスの利用が定着し、来館困難者に対し図書館活動の推進が図れました。</p> <p>6箇所のきらきらこどもにも司書が児童向けに選んだ図書を貸出し、児童の読書力の向上に貢献しました。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	各種スポーツ開催事業・レガッタ推進事業		
関連する重点施策	8-1 スポーツの普及・振興		
事業の意図	ボート競技を通じて、町民の健康の保持・増進と体力向上が図られるようにするとともに、ボート競技の普及と活力ある町づくりを目指します。そして、「ボートのまち東郷」を全国に発信し、全国の人々とのふれあいを創出します。		
【主な実施内容】			
<p>各種スポーツ教室開催事業</p> <p>(1) ボート教室（春・ナックルフォア）3回開催（6月12日・19日・26日） 参加申込み人数 16人（うち子供4人） 延べ参加人数 42人</p> <p>(2) ボート教室（夏・ナックルフォア）3回開催（8月20日・27日、9月3日） 参加申込み人数 5人 延べ参加人数 11人</p> <p>町民レガッタ開催事業</p> <p>(1) 開催種目（ナックルフォア500m） ガッツマン、ジェントルマン、グランドシニア男子、レディー、マダム、グランドシニア女子、ミックス、中学生、高校生、地区別体験レース、3市1町スポーツ推進委員の部</p> <p>(2) 開催日 平成28年8月7日（日）</p> <p>(3) 場所 愛知池漕艇場</p> <p>(4) 参加クルー数 149クルー（885人）</p> <p>(5) 来場者数 約2,500人</p> <p>(6) その他 ア 大会プログラムを1,200部作成しました。 イ 大会ポスター120部作成し、町内公共施設等に掲示しました。 ウ 会場テント、仮設トイレ設営等を委託しました。</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>ボート教室は、ボート関係者からもPRをして頂き、参加者数が若干増加しました。今後も、ボート人口の増加に向け、開催方法や勧誘方法などを工夫し実施していきます。</p> <p>町民レガッタは、東郷創立110周年記念大会として開催し、参加クルーは149クルーと昨年度より若干減少しました。また、大会会場では町の若手職員が特産品を販売しました。当日の様子はCnetで放送され、町民レガッタをPRしました。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

担当課		生涯学習課
事業名	スポーツ団体育成事業・スポーツ等指導者育成事業・スポーツ事業開催事業	
関連する重点施策	8-2 スポーツの普及・振興	
事業の意図	<p>スポーツ団体の育成が図られ、活発に活動できるようにするとともに、スポーツを始める機会づくりから競技スポーツの育成を図る中で、スポーツ志向率を高めます。</p> <p>スポーツ推進委員と体力づくり推進委員の資質向上を通じて、生涯学習としてのスポーツの普及と振興を図ります。</p> <p>レクリエーションスポーツの普及が図られ、多くの方々にスポーツの楽しさを知ってもらえるようにします。</p>	
【主な実施内容】		
<p>スポーツ団体育成事業</p> <p>下記団体の活動と大会の開催支援のため補助金を交付しました。</p> <p>(1) 東郷町体育協会 加盟団体数 16団体</p> <p>(2) 少年少女スポーツクラブ 加盟団体数 1団体</p> <p>(3) 東郷町ボート協会 構成団体数 1団体</p> <p>(4) TOGOスポーツクラブ (12回開催) 各小学校においてスポーツ教室等を実施</p> <p>スポーツ指導者育成事業</p> <p>(1) スポーツ推進委員関係事業 スポーツ推進委員23名が、本町のスポーツ振興のために、家族体力づくりの日、レクリエーションスポーツなどの各種スポーツ大会及び事業を主管して、町民に対してスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導・助言を行いました。 また、スポーツ関係機関との連絡調整及び各種研修会に参加して、ニュースポーツの紹介、競技の指導技術及び知識の高揚に努めました。</p> <p>(2) 体力づくり推進委員関係事業 体力づくり推進委員52名が地域におけるスポーツ活動振興のため、スポーツ推進委員と連携を取りながら体力づくり活動の指導及びニュースポーツの普及に努めました。また、体力づくり推進委員の資質及び技術向上のため研修を実施しました。</p> <p>スポーツ事業開催事業</p> <p>(1) レクスポ大会事業 レクリエーションスポーツの普及を図るために、第25回レクスポ大会(種目:夢ボール)を開催しました。 ア 開催日・場所 平成29年2月26日(日) 総合体育館 イ 参加チーム数 8チーム・43人</p> <p>(2) 町民ハイキング事業 日常では体験することのできない自然とのふれあいを通じて豊かな人間性を育てるとともに、自然を満喫しながら運動をすることで、心身の健康保持・増進を図るため、町民ハイキングを実施しました。 ア 開催日・場所 平成28年10月30日(日) 福井県敦賀市(距離約8km) イ 参加者 124人(大型バス3台)</p>		

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

【評価及び課題、問題点など】

町体育協会は自立しており、加盟各部においても自主運営がなされています。

TOGOスポーツクラブの活動では、小学校ごとに事業計画を立て実施していますが、参加人数に偏りがあり、参加人数の少ない学校区に対しては、PR方法等について指導、助言していきます。

レクスポ大会については、参加人数が少ないためニーズに合った種目で企画していく必要があります。

また、町民ハイキングは、自然とのふれあいを通じて、豊かな人間性を育てるとともに心身の健康の保持、増進を図るためには適しており、毎年申込みの初日に定員に達する事業です。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	スポーツ交流事業		
関連する重点施策	8-3 スポーツの普及・振興		
事業の意図	<p>ニュースポーツの実施を通じて生涯学習としてのスポーツを楽しむとともに、健康の保持増進を図ります。</p> <p>東郷町の代表としての成果を十分に発揮するとともに、スポーツを通じて各市町村との交流を図ります。</p>		
【主な実施内容】			
<p>スポーツ交流事業</p> <p>(1) 愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル開催事業</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 東尾張地区大会</p> <p style="margin-left: 40px;">町内から6種目（グラウンドゴルフ1チーム、ソフトバレーボール2チーム、年齢別テニス1チーム、年齢別バドミントン1チーム、弓道5チーム、軟式野球1チーム）の代表11チームを東尾張地区大会に派遣しました。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 県大会</p> <p style="margin-left: 40px;">東尾張地区大会で、優勝した1チーム（軟式野球）が県大会に出場しました。</p> <p>(2) 愛知県市町村対抗駅伝事業</p> <p style="margin-left: 20px;">県内市町村の交流、スポーツに対する県民意識の高揚を図るために、平成28年12月3日（土）に愛・地球博記念公園内で愛知県市町村対抗の駅伝大会が開催され、全市町村54チーム（うち町村16チーム）が参加しました。</p> <p style="margin-left: 40px;">本町からは、20名の選手及び監督が参加し、町村の部において3位に入賞しました。</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>各大会において東郷町をPRしていくため、今後も愛知スポーツ・レクリエーションフェスティバル大会、愛知駅伝に参加するチームの支援を継続する必要があります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	生涯学習課																					
事業名	体力づくり推進事業																							
関連する重点施策	8-4 スポーツの普及・振興																							
事業の意図	ニュースポーツの実施を通じて生涯学習としてのスポーツを楽しむとともに、健康の保持増進を図ります。																							
【主な実施内容】																								
<p>体力づくり推進事業</p> <p>(1) 毎月第3日曜日の午前中に町内小学校を開放して「家族体力づくりの日」を行い、ビーチボール、ファミリーバドミントン、ドッチビー、グラウンドゴルフ等を行いました。また、各小学校区において年1～2回スポーツ大会や体力測定を実施しました。</p> <p>(2) 「家族体力づくりの日」参加状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 10%;">ア</td><td style="width: 70%;">東郷小学校区</td><td style="width: 20%; text-align: right;">279人</td></tr> <tr><td>イ</td><td>春木台小学校区</td><td style="text-align: right;">292人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td>諸輪小学校区</td><td style="text-align: right;">709人</td></tr> <tr><td>エ</td><td>音貝小学校区</td><td style="text-align: right;">218人</td></tr> <tr><td>オ</td><td>高嶺小学校区</td><td style="text-align: right;">772人</td></tr> <tr><td>カ</td><td>兵庫小学校区</td><td style="text-align: right;">327人</td></tr> <tr><td></td><td style="text-align: center;">合 計</td><td style="text-align: right;">2,597人</td></tr> </table>				ア	東郷小学校区	279人	イ	春木台小学校区	292人	ウ	諸輪小学校区	709人	エ	音貝小学校区	218人	オ	高嶺小学校区	772人	カ	兵庫小学校区	327人		合 計	2,597人
ア	東郷小学校区	279人																						
イ	春木台小学校区	292人																						
ウ	諸輪小学校区	709人																						
エ	音貝小学校区	218人																						
オ	高嶺小学校区	772人																						
カ	兵庫小学校区	327人																						
	合 計	2,597人																						
【評価及び課題、問題点など】																								
<p>スポーツ推進委員、体力づくり推進委員は小学校区で「家族体力づくりの日」の活動していますが、校区毎で取組みに若干の温度差がありますので、スポーツ推進委員の定例会で、参加人数の多い校区の活動を参考にしてもらい、地域住民のスポーツへの参加の機会が増すよう各校区の情報交換を行いました。</p>																								

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

		担 当 課	生涯学習課
事業名	体育施設管理事業・総合体育館管理事業		
関連する重点施策	9 体育施設の整備充実		
事業の意図	町内体育施設を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。 総合体育館を利用する人が、安心・快適に利用できるようにします。		
【主な実施内容】			
<p>体育施設管理事業</p> <p>(1) 指定管理者制度 平成25年度から5年間の指定管理に関する基本協定を締結しています。 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社 指定期間 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで</p> <p>(2) 体育施設一般管理事業 ア 町体育施設(町民運動広場・愛知池運動公園・境川緑地公園第1多目的広場・境川緑地公園第2多目的広場・ふれあい広場ゲートボール場)について指定管理者による施設管理を実施しました。 イ 愛知池運動公園の整地作業用グラウンドマット等を修繕しました。 ウ 愛知池運動公園駐車場用地(7,039㎡)、町民運動広場用地(16,705㎡)及び境川緑地公園用地(982㎡)の借地料を支払いました。</p> <p>(3) 愛知池漕艇場維持管理事業 ア 公益社団法人日本ボート協会の公認ボートコース(B級1,000m)としての認定を受けました。 イ ボートハウス及び総合監視所の光熱水費の支払い及び施設設備の保守業務を委託しました。 ウ ボートハウスの施設管理及び指導を行うため、臨時職員2名を雇用しました。</p> <p>(4) ふれあい広場ゲートボール場維持管理事業 ふれあい広場ゲートボール場用地(991㎡)の借地料を支払いました。</p> <p>総合体育館管理事業</p> <p>(1) 指定管理者制度 平成25年度から5年間の指定管理に関する基本協定を締結しています。 指定管理者 東郷町施設サービス株式会社 指定期間 平成25年4月1日から平成30年3月31日まで</p> <p>(2) 総合体育館管理事業 ア 総合体育館について指定管理者による施設管理を実施しました。 イ 総合体育館の壁面ボード、上水加圧給水ポンプ等を修繕しました。 ウ 総合体育館駐車場用地(1,389㎡)の借地料を支払いました。</p>			
【評価及び課題、問題点など】			
<p>町体育施設及び総合体育館は、本町のメインとなるスポーツ施設ですので、安全で快適にスポーツを行うことができる場となるよう、指定管理者との連絡会議等を定期的に行うなど、互いに連携・協力して住民サービスの向上に努めていく必要があります。</p>			

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

担 当 課	高校総体室
-------	-------

事業名	高校総体開催準備事業
関連する重点施策	8 スポーツの普及・振興に努める。
事業の意図	各県代表選手が、成果を十分発揮できるようにします。また、高校総体を通じてボート振興を図ります。

【主な実施内容】

高校総体開催準備事業

- (1) 会議に出席しました。
 - ア 愛知県準備委員会 3回
 - イ 愛知県関係者連絡会議 6回
- (2) 先催県を視察しました。
 - ア 視察日 平成28年7月28日から平成28年8月1日
 - イ 視察先 島根県雲南市（競技場：さくらおろち湖ボート競技施設）
 - ウ 内 容 開会式、競技、閉会式
- (3) 愛知県高等学校体育連盟ボート専門部、愛知県ボート協会等の関係団体と大会開催に向けて打合せを実施しました。
 - 打合せ回数 10回
- (4) 大会会場図の案を作成しました。
 - 愛知池漕艇場の大会会場図（案）作成
- (5) 大会開催準備スケジュール表を作成しました。
 - 年度別の開催準備年間スケジュール表作成
- (6) インターホン配線調査業務を委託しました。
 - 愛知池漕艇場の既設インターホン現状調査及び施設改修案作成
- (7) 事務室改修工事を実施しました。
 - 事務室改修及び空調設備整備

【総合評価】

平成30年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会の業務分担別の開催準備業務推進計画書を作成し、大会運営の全体把握に努める必要があります。

平成30年度全国高等学校総合体育大会ボート競技大会を円滑に実施するため、愛知県教育委員会、愛知県高等学校体育連盟及びボート関係団体と連携協力して準備を進める必要があります。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

	担 当 課	給食センター
事業名	給食センター管理運営事業	
関連する重点施策	(1) 魅力あるおいしい給食づくり。 (2) 食に関する指導を推進する。 (3) 家庭や地域との連携を密にした給食を推進する。 (4) 衛生管理を徹底し、食中毒防止に努める。 (5) 老朽施設・設備等の改修を計画的に実施する。	
事業の意図	給食センター内の調理設備を常に安定稼働させ、衛生的で安全な給食を安定して提供できるようにします。	
【主な実施内容】		
給食センター管理運営事業 (1) 魅力あるおいしい給食づくり。 ア 献立委員会や物資選定委員会により出された、意見やこれまでの反省等を元に季節感や旬の食材を大切に給食を提供しました。 イ 運営委員会を開催しセンターの運営について審議しました。 (ア) 開催日 平成28年6月10日(金) (イ) 主な内容 平成27年度事業報告、平成28年度事業計画、学校保育園栄養士による栄養指導計画給食用物資納入業者の登録について (ウ) 運営委員 教育部長、福祉部長、各学校校長、各学校PTA代表、保育園園長代表、保育園父母の会代表 計22名 (2) 食に関する指導を推進しました。 栄養教諭による全小中学生に食に関する指導を行いました。 小学校低学年には、食べる姿勢や箸の使い方等を、小学校高学年や中学生には栄養素や食習慣等について指導しました。 (3) 家庭や地域との連携を密にした給食を推進しました。 ア 食育だより「いただきます」を保護者の各家庭に配布し望ましい食生活を啓発しました。また、読者を増やすため発行月の献立表の裏面に印刷をしました。 イ 地場産物の活用に努め、東郷町産の食材を給食に使用しました。 (4) 応募献立 児童生徒に給食への関心を持たせることにより、食育の推進を図ることを目的とし、テーマをもとに献立を募集しました。受賞献立は、給食として実施しました。 ア テーマ「野菜たっぷり！我が家の自慢料理！」 イ 受賞献立数 11献立（小学生7献立、中学生4献立） (5) 衛生管理を徹底し、食中毒防止に努めました。 センター内の職員全員（委託業者含む）の検便検査（サルモネラ、赤痢、0-157、冬季はノロウイルス）を月2回実施しました。 (6) 老朽施設・設備等の改修を計画的に実施しました。 ア 厨房機器及び排水処理場等の保守点検を実施し、健全な施設の維持管理に努めました。 イ 調理場内の床面塗装工事を実施し、劣化部分を補修に加え調理場内の色分けをし食材の汚染区域、非汚染区域の区分けを明確にしました。また、塗料に滑り止めの砂を入れ調理員の労働環境の改善を図りました。		

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

【評価及び課題、問題点など】

魅力あるおいしい給食を提供できるよう努めていきます。

地場産物の活用を一層努めていきます。

調理設備の衛生検査並びに保守点検を定期的実施することにより安全で安心な給食を提供できるようにします。

全施設・設備をドライ仕様にできるよう、また、公共施設総合管理計画に基づく施設・設備の改修を計画的に実施します。

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

担 当 課	給食センター
-------	--------

事業名	小学校給食事業・中学校給食事業
関連する重点施策	—
事業の意図	児童生徒の健全な発達に資するため、安全で安心かつ、栄養バランスの取れた魅力あるおいしい給食を提供する。

【主な実施内容】

(1) 提供食数 () 内はH27年度実績

ア 小学校※ 579,573食 (569,775食) イ 中学校 262,900食 (265,937食)
ウ 合計 842,473食 (842,240食) ※ ハトフルとうごう、給食センター職員等

(2) 献立作成の重点

ア 家庭の食事で不足しがちなカルシウムに注目し、特に多く含む献立には献立表に骨マークをつけ、食生活の改善に役立てられるよう啓発しました。(呉汁、ししゃもフライ等)
イ 季節感を盛り込めるよう野菜や果物、魚等の食品の使用に配慮しました。(7月夏野菜カレー、10月栗入り五目ご飯)
ウ 年中行事などにちなんだ献立を取り入れ、食文化の啓発と伝承を図りました。
(9月実施(お月見)月見汁、2月実施(節分)いわし蒲焼き)
エ 噛みごたえのある食品を使用して「かみかみメニューの日」を設け、噛むことの大切さをアピールしました。(れんこんサラダ、ししゃもフライ等)

(3) 地場産物の使用状況

地場産物の使用を推進し、東郷町産食材を給食で使用しました。
また、地産地消推進事業として東郷町産食材5品目について公費による給食を提供しました。

食材	使用月	使用した献立名
米、もち米、赤米	4、3	古代米赤飯
玉ねぎ	6	オニオンスープ
ローゼル(※)	6	東郷町産ローゼルジャム
トマト(※)	7	東郷町産トマト
かぼちゃ(※)	10	東郷町産かぼちゃコロッケ
柿(※)	11	東郷町産柿
大根	12~2	のっぺい汁
ねぎ	1~2	麻婆豆腐
白菜	1	東郷町産冬野菜のみそ汁

※ 地産地消推進事業対象

(4) 残菜量

給食で出た残菜については、給食センターに集め、可燃物として処理を行いました。

ア 合計 9,557kg (前年度分10,475kg)
イ 内訳 (カッコ内は前年度分)

教育委員会の事務の点検及び評価シート〔平成28年度〕

種 別	小学校			中学校		
	食缶 (主に汁物)	パット (主に主菜)	パット (主に副菜)	食缶 (主に汁物)	パット (主に主菜)	パット (主に副菜)
総 量	5,870kg (6,569kg)			3,687kg (3,906kg)		
内 訳	3,121kg (3,344kg)	895kg (1,020kg)	1,854kg (2,205kg)	1,720kg (1,623kg)	513kg (556kg)	1,454kg (1,727kg)
一食当たり	5.4g (5.8g)	1.5g (1.8g)	3.2g (3.8g)	6.5g (6.1g)	2.0g (2.1g)	5.5g (6.5g)
合 計	10.1g (11.4g)			14.0g (14.7g)		

※ ハートフル、給食センター等は小学校分としております。

(5) 台風接近時における給食支給基準の策定について

休校等による食材廃棄を極力減らすため、また、給食中止時の保護者への周知を迅速に行うため基準を策定いたしました。

【評価及び課題、問題点など】

(1) 提供食数について

小学校、中学校ともに食数は行事等の関係により実施日数が増加したため微増しております。

(2) 献立作成の重点について

給食センターの取り組みを理解してもらうよう、給食だよりなどの紙面だけでなく、校内放送を通じて伝えたり、給食指導の際に直接話をし伝えたことは効果があったと思います。

(3) 応募献立について

応募献立は毎年多くの応募がありとても賑わっています。児童生徒の給食への関心を深めるため行ったものですが、保護者の方の協力があって完成するものが多く、児童生徒が自分の家の味や料理について考える良い機会になっているようです。今後も継続していきたいと思います。

(4) 地場産物の活用について

使用食材の価格や規格、約 4,800 食分を確保できるか、といった問題があります。そんな中でも、児童生徒に少しでも自分の住んでいる町で育てた食材を食べることの意義を感じてほしいと考えているため、今後も継続し取り組んでいきたいと思います。

(5) 残菜について

昨年度と比較して残菜が減っておりますが小学 4 年生の栄養指導で実施するテーマ「残菜をなくそう」の取り組みが徐々に表れているかと思えます。

また、献立作成時には毎月実施しております献立委員会での意見を反映させ、例えばコールスローサラダのドレッシングマヨネーズからドレッシングに替え野菜になじむようにした等を工夫や改善を行ったことも残菜が減った要因の一つと考えられますので、今後も引き続き研究していきたいと考えております。

小学校 10.1g、中学校 14.0g と共に大さじ 1 杯程度を一人一人が食べることで残菜をなくすことのできる量ですが、給食指導等で児童生徒と一緒に給食を食べることで残菜の総量だけでは見えない各学校の学年、クラス単位での様々な問題の本質が見えてきます。一つの学校単位では、学校単位では残菜量が少なくても、ある学年だけが大量に残していたり、クラス単位では、摂取不足の児童と、過剰摂取の児童が同じクラスにいて残菜量として見えてこない、という現状です。この問題については栄養指導の授業を通じて伝えていくだけでなく、担任の先生へ声をかけてもらう等の日常的なアプローチが必要不可欠であると思えます。